

(別紙4(2))

事業所名：グループホーム楽ちんの家笑楽

目標達成計画

作成日：令和 6年 2月 1日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35 (13)	災害時(火災・停電・雪害等)の円滑な連絡体制を整え、適切な避難方法を職員が周知し、さらに地域との協力体制を整えてはどうか	災害対策を強化する(連絡体制・避難方法を全職員が周知する 地域との協力体制を築く)	職員がすぐにわかる様式で連絡体制表・避難方法表を作り、目につく場所に掲示する 地域との協力体制は運営推進会議で自治会長と協議し、地域住民も方も訓練に参加してもらう	12ヶ月
2	33 (12)	重度化・終末期ケアの具体的な手順等を明記したマニュアルを整備することで、重度化・終末期ケアに対する確な支援提供とより深い理解につなげてはどうか	重度化・終末期ケアの具体的な手順マニュアルを作成する	実際行った経験をもとに、すべての職員が関わって重度化・終末期ケアについての具体的な手順マニュアルをわかりやすく作成する	12ヶ月
3	1 (1)	法人理念に基づいた個人目標を設定することで、より明確に日々の支援に取り組む体制整備をしてはどうか	法人理念に基づいた個人目標を設定し、実践と評価を行う	法人理念を周知し、各々個人目標を設定してもらい、管理者が確認、順次実践していく。その後フィードバックを行い、話し合う機会をもうける	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。